

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称：ウィズブック保育園 中野島	種別：認可保育園
代表者氏名：菅原 豊美	定員（利用人数）： 60（66）名
所在地： 神奈川県川崎市多摩区中野島3-13-11	
TEL：044-712-7260	ホームページ： https://wb-hoikuen.jp/tokyo/nakanoshima
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 アイエスシー	
職員数	常勤職員： 17 名 非常勤職員 5 名
専門職員	（専門職の名称） 保育士 16名
	園長 1名 栄養士 3名
	主任 1名 看護師 1名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室 6 子どもトイレ 3
	応接室 1 大人トイレ 3
	更衣室 1 倉庫室 2
	事務室 1 厨房室 1
	調乳室 1 園庭 有(○) 無()

③ 理念・基本方針

すべての子どもには、無限の可能性があります。私たちは、それを引き出し「その子らしさと自ら伸びるチカラ」を育みます。
私たちは、「子育てに頑張る保護者様や家族の成長」に、寄り添い支援する存在であり続けます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

WithBookプログラム ・ WithBookEnglish

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年7月11日（契約日） ～ 2023年11月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥ 総評

◇ 特長や今後期待される点
特に良いと思う点
○ 本社との連携により、円滑な園の運営を図っています。
園は本社の緊密な連携とサポートにより、円滑な運営を図っています。運営マニュアルの活用や、新規職員の入職時に受ける研修、本社主催の研修プログラムを通じて、職員は適切な知識とスキルを習得し、一貫性のある運営に取り組んでいます。また、事業計画の策定と管理、法令遵守の徹底、リスクマネジメントの体制整備、人材採用と能力向上など、多岐にわたるサポートを図っており、安定した運営に向けて園と本社が相互協力を図る体制を構築しています。

○本社のオリジナル絵本を用いた「ウィズブックプログラム」

園では、毎月1冊のオリジナル絵本から、さまざまな遊びや活動を展開しています。オリジナル絵本には、年齢や成長、言葉の理解度などに合わせて、内容や色遣い、登場人物などに変化をつけて描かれており、どの年齢の子どもたちも集中して楽しめる絵本になっています。保育者は、子どもが発する思いの言葉から、興味・関心を受け取り、遊びを展開させています。子どもたちは、保育者からの肯定的な言葉かけにより、「これでいいんだ」「またやりたい」と主体性を育てています。

今後期待される点

○継続的な改善活動に向けて、運営課題に関わる情報収集の更なる展開を期待します。園は保護者の意見を継続的に収集し、園の運営を改善するための取り組みをおこなっています。日常的なコミュニケーションの手段として、送迎時の会話や連絡帳のやり取りに加え、保護者会、運営委員会などを活用して、保護者との対話を大切にしています。今後はさらなる情報収集の手段として、行事後のアンケート調査や年度末のアンケート調査を検討しています。これにより、保護者からの意見を網羅的に把握し、園の運営に生かしていく計画を検討しています。本社との協議を経て、具体的な実施方法や調査項目を詳細に検討し、さらなるサービスの質の向上に期待します。

○地域との交流が深まることに期待します

園のホームページやパンフレットでは、理念や保育所の特徴等を掲載し、園の周知に努めています。園が開園してまもなく、コロナウィルス感染症が流行し、保護者や子どもが同時にあつまる行事の開催や、地域との交流を積極的におこなうことが難しい状況でした。最近では、近隣保育園の園庭開放交流に参加するなど、少しずつ子ども同士の交流の機会が増えてきました。園の近くには小学校や高齢者施設などがあり、活動の幅を広げられる環境となっています。子どもたちが、地域の人に接し多くの地域資源の活用によって、地域との関わりが深まることに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開所して初めての受審で、不安もありましたが、事前の書類や訪問していただき、これからの取り組むべき事案が明確になりました。

保育・子育て支援・運営において高評価をいただき、園の理念に基づき子どもたちに寄り添い丁寧に関わってきた保育に間違いはなかったと嬉しく思います。また保護者の方からも、ウィズブック保育園により評価をいただき、これからの励みにもなりました。今まで、行事等でのご意見を個別にいただいておりますが、今後はアンケートという形で皆様にご意見ご感想をいただき、今後に生かしていきたいと思っております。コロナ禍も落ち着き、来期からはさらに保育実習、ボランティアの受け入れ、地域支援活動に力を入れたいと思っております。

今回の受審で、それぞれの観点から分析評価いただき、できているところ、さらに力をいれるところが明確になり、今後の保育園運営に役立ていくことができます。受審してよかったと思っております。本当にありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり